amova
アモーヴァ・アセットマネジメント

# 新・ミューズニッチ米国ＢＤＣファンド（為替ヘッジなし・毎月分配型）

追加型投信／海外／その他資産

## 交付運用報告書

第101期（決算日2025年６月20日）　第102期（決算日2025年７月22日）　第103期（決算日2025年８月20日）
第104期（決算日2025年９月22日）　第105期（決算日2025年10月20日）　第106期（決算日2025年11月20日）

作成対象期間（2025年５月21日～2025年11月20日）

| 第106期末（2025年11月20日） | |
|---|---|
| 基準価額 | 11,070円 |
| 純資産総額 | 22,405百万円 |
| 第101期～第106期 | |
| 騰落率 | △ 0.9% |
| 分配金（税込み）合計 | 460円 |

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項にかかる情報を記載したものです。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

**受益者のみなさまへ**

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「新・ミューズニッチ米国ＢＤＣファンド（為替ヘッジなし・毎月分配型）」は、2025年11月20日に第106期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、「ハイインカムＢＤＣマザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

＜643378＞
アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
東京都港区赤坂九丁目７番１号
www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

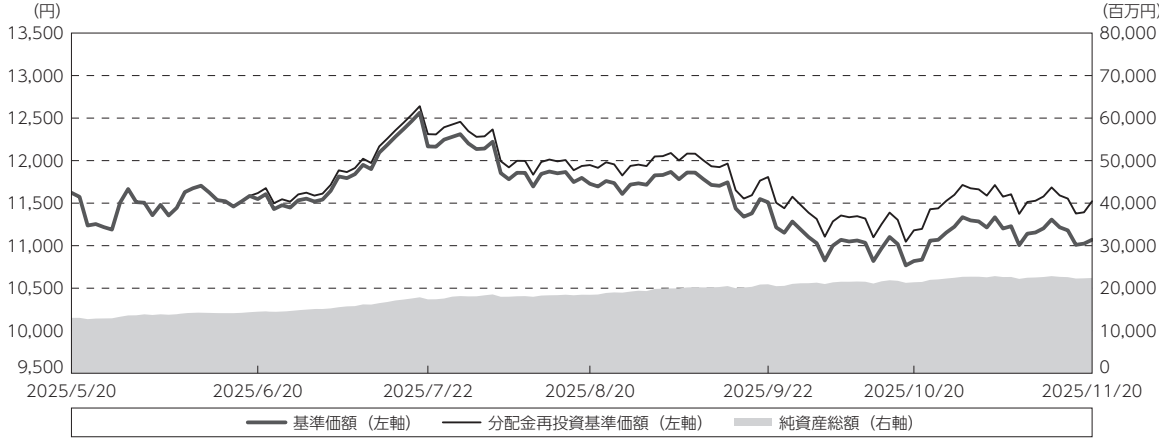
当運用報告書に関するお問い合わせ先
コールセンター　電話番号：0120－25－1404
午前9時～午後5時　土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

# 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

（2025年5月21日～2025年11月20日）




第101期首：11,622円
第106期末：11,070円（既払分配金（税込み）：460円）
騰　落　率：△ 0.9%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2025年５月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「ハイインカムＢＤＣマザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

**＜値上がり要因＞**

・投資先ＢＤＣから配当収入を得たこと。
・円安／アメリカドル高が進行したこと。

**＜値下がり要因＞**

・ＢＤＣ市場が下落したこと。

## １万口当たりの費用明細

（2025年5月21日～2025年11月20日）

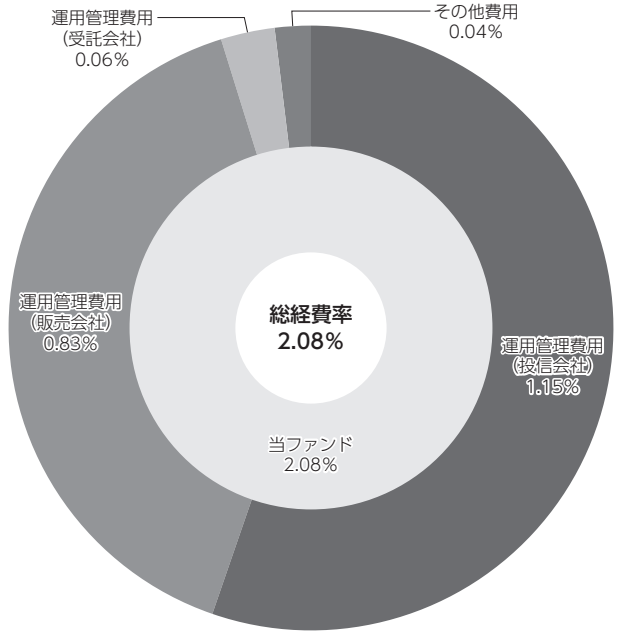
| 項目 | 第101期～第106期 金額 | 第101期～第106期 比率 | 項目の概要 |
|---|---|---|---|
| | 円 | % | |
| (a) 信託報酬 | 118 | 1.026 | (a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 |
| （投信会社） | ( 67) | (0.582) | 委託した資金の運用の対価 |
| （販売会社） | ( 48) | (0.416) | 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 |
| （受託会社） | ( 3) | (0.028) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 1 | 0.010 | (b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数<br>売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| （投資信託証券） | ( 1) | (0.010) | |
| (c) その他費用 | 2 | 0.022 | (c) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 |
| （保管費用） | ( 1) | (0.011) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （監査費用） | ( 0) | (0.002) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （印刷費用等） | ( 1) | (0.008) | 印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など |
| 合計 | 121 | 1.058 | |
| 作成期間の平均基準価額は、11,539円です。 | | | |

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

**◯総経費率**

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.08％です。




（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「１万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近５年間の基準価額等の推移

（2020年11月20日～2025年11月20日）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、2020年11月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

| | 2020年11月20日<br>決算日 | 2021年11月22日<br>決算日 | 2022年11月21日<br>決算日 | 2023年11月20日<br>決算日 | 2024年11月20日<br>決算日 | 2025年11月20日<br>決算日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基準価額　(円) | 6,496 | 8,918 | 9,906 | 11,278 | 12,453 | 11,070 |
| 期間分配金合計（税込み）　(円) | － | 480 | 480 | 510 | 840 | 880 |
| 分配金再投資基準価額騰落率　(%) | － | 45.8 | 16.8 | 19.8 | 18.4 | △ 4.2 |
| 純資産総額　(百万円) | 5,026 | 4,374 | 5,309 | 5,393 | 9,252 | 22,405 |

（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
（注）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 投資環境

（2025年5月21日～2025年11月20日）

### （ＢＤＣ市況）

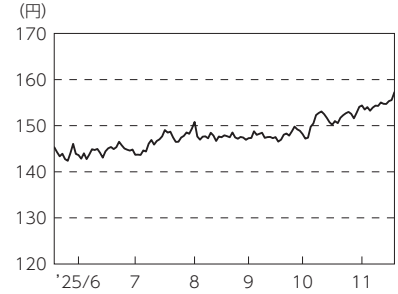
期間中、ＢＤＣ市場は上下動を続けながら2025年７月下旬まで上昇し、その後徐々に下落しました。

期間中、米国経済は堅調を維持しましたが、関税・金利政策・経済成長など不透明なマクロ要因により株式市場のボラティリティ（変動性）は高止まりしました。米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）は政策金利を引き下げ、米国の2025年第２四半期国内総生産（ＧＤＰ）は予想を上回る個人消費に牽引され堅調であったものの、その後雇用市場は軟化しました。ＢＤＣ市場は、特に９月に下落しましたが、主な要因は金利低下予想、スプレッド（利回り格差）縮小、複数のレバレッジドローン破綻などＢＤＣ収益への逆風に関する複数の報道でした。

### （為替市況）

期間中における円／アメリカドル相場は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移




## 当ファンドのポートフォリオ

（2025年5月21日～2025年11月20日）

### （当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「ハイインカムＢＤＣマザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

### （ハイインカムＢＤＣマザーファンド）

期間中、９月以降のボラティリティ上昇を受け、現金保有比率を引き上げました。

ポートフォリオをディフェンシブに構築し、ノン・アクルーアル（非稼働資産）比率が低い高品質のＢＤＣをオーバーウェイトとするとともに、収益改善のきっかけとなるディープバリュー銘柄へ機会を捉えて投資しました。

収益の逆風要因となっている低金利環境への感応度が低いＢＤＣへの配分比率を高めました。

市場売りが発生した際には現金を投入し、元本保全を最優先に継続しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2025年5月21日～2025年11月20日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 分配金

（2025年5月21日～2025年11月20日）

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

**○分配原資の内訳**

（単位：円、１万口当たり、税込み）

| 項　　目 | 第101期<br>2025年５月21日～<br>2025年６月20日 | 第102期<br>2025年６月21日～<br>2025年７月22日 | 第103期<br>2025年７月23日～<br>2025年８月20日 | 第104期<br>2025年８月21日～<br>2025年９月22日 | 第105期<br>2025年９月23日～<br>2025年10月20日 | 第106期<br>2025年10月21日～<br>2025年11月20日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 当期分配金<br>（対基準価額比率） | 70<br>0.603% | 70<br>0.572% | 80<br>0.678% | 80<br>0.690% | 80<br>0.734% | 80<br>0.717% |
| 当期の収益 | 70 | 70 | 4 | 80 | 71 | 25 |
| 当期の収益以外 | － | － | 75 | － | 8 | 54 |
| 翌期繰越分配対象額 | 4,361 | 4,375 | 4,301 | 4,353 | 4,348 | 4,294 |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「ハイインカムＢＤＣマザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（ハイインカムＢＤＣマザーファンド）

米国経済の安定と健全な企業収益は、ＢＤＣの信用パフォーマンスにとって良好な環境を提供し続けており、最近の報道が示すよりも安定しています。レバレッジドローン分野での注目すべきデフォルト事例（Tricolor社、First Brands社）は個別要因によるものであり、市場全体へのシステミックリスクとはならないと考えています。

当ファンドでは、レバレッジドローン債務不履行のTricolor社やFirst Brands社の破綻に対する「ルックスルー」エクスポージャーは保有していません。金利低下は短期的にはＢＤＣの収益減少につながる可能性がありますが、資金調達コストも同時に低下（上場ＢＤＣは平均１：１のレバレッジ）、歴史的に低金利環境では信用問題が減少しＭ＆Ａが増加する傾向といった相殺要因も存在していると思料しています。

本戦略は、上場クレジット市場に対する利回りプレミアムを伴なう、サイクルを超えた全天候型利回り戦略と捉えています。この資産クラスは過去にセンチメント変動を経験しましたが、長期投資家は優良な上場ＢＤＣを選別することで報われてきました。不透明な時期においてもＢＤＣのパフォーマンスは引き続き分化すると考えます。ポートフォリオでは保守的なポジションを維持しつつ、中期的にはＢＤＣのパフォーマンスに前向きな見方を継続します。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

## お知らせ

2025年５月21日から2025年11月20日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、2025年９月１日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。（第１条、第16条）
②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのＵＲＬを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。（第59条）

当ファンドについて、投資対象マザーファンドの運用委託に係る報酬の計算方法に関する規定を見直すべく、2025年10月30日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。具体的には、運用委託報酬率が投資対象マザーファンドの純資産総額に応じて変動するスキームから、別に定める各ベビーファンドが保有するマザーファンド時価総額の合計に応じて変動するスキームへ変更いたしました。（第41条、付表）

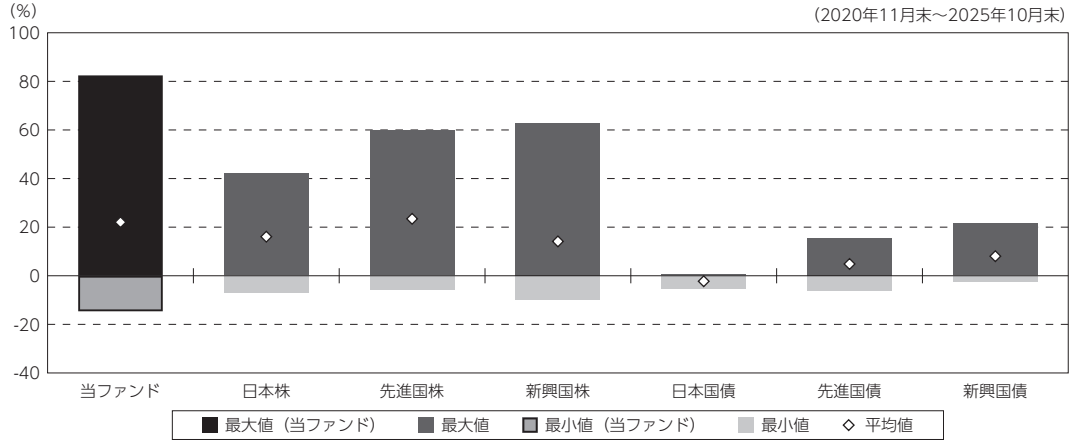
別に定める各ベビーファンドは、付表に規定している以下のものです。
新・ミューズニッチ米国ＢＤＣファンド（為替ヘッジなし・毎月分配型）
新・ミューズニッチ米国ＢＤＣファンド（為替ヘッジなし・年２回決算型）
新・ミューズニッチ米国ＢＤＣファンド（為替ヘッジあり・毎月分配型）
新・ミューズニッチ米国ＢＤＣファンド（為替ヘッジあり・年２回決算型）
新・ミューズニッチ米国ＢＤＣファンド（為替ヘッジなし・年４回分配型）

## 当ファンドの概要

| | | |
|---|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／その他資産 | |
| 信託期間 | 2017年２月３日から2032年５月20日までです。 | |
| 運用方針 | 主として、「ハイインカムＢＤＣマザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 | |
| 主要投資対象 | 新・ミューズニッチ米国BDCファンド（為替ヘッジなし・毎月分配型） | 「ハイインカムＢＤＣマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。 |
| | ハイインカムBDCマザーファンド | ＢＤＣ（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 主として、米国の金融商品取引所に上場されているＢＤＣに実質的な投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。ＢＤＣの組入比率は、高位を維持することを基本とし、ＢＤＣの銘柄選定にあたっては、各銘柄毎の利回り水準、流動性に加えて、ファンダメンタルズや割安性などを勘案して行ないます。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。 | |
| 分配方針 | 第１計算期から第２計算期までは収益分配を行ないません。第３計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。<br>ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 | |

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較




（単位：%）

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 最大値 | 82.4 | 42.1 | 59.8 | 62.7 | 0.6 | 15.3 | 21.5 |
| 最小値 | △ 14.6 | △ 7.1 | △ 5.8 | △ 9.7 | △ 5.5 | △ 6.1 | △ 2.7 |
| 平均値 | 22.0 | 16.1 | 23.4 | 14.1 | △ 2.3 | 4.8 | 8.0 |

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2020年11月から2025年10月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日 本 株：TOPIX（東証株価指数）配当込み
先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA-BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

**指数について**

●**TOPIX（東証株価指数）配当込み**は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社に帰属します。●**MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）**は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●**MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）**は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●**NOMURA-BPI国債**は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われるアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●**FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）**は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●**JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）**は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

# 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

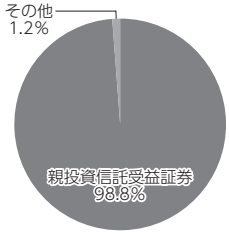
（2025年11月20日現在）

### ○組入上位ファンド

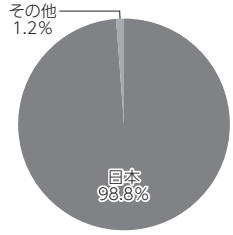
| 銘　　柄　　名 | 第106期末 |
|---|---|
| | % |
| ハイインカムＢＤＣマザーファンド | 98.8 |
| 組入銘柄数 | 1銘柄 |

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

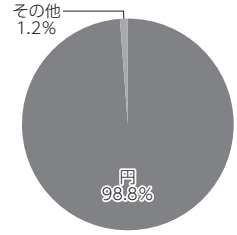
### ○資産別配分




### ○国別配分




### ○通貨別配分




（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

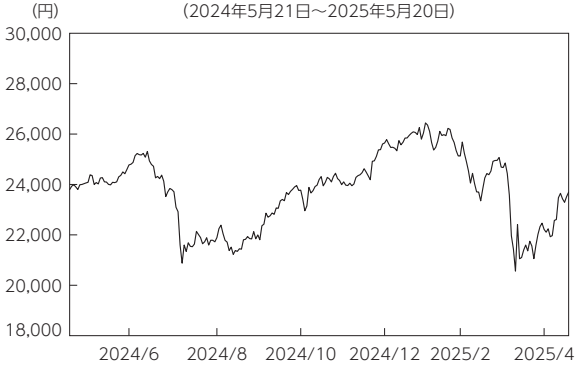
| 項　　目 | 第101期末 | 第102期末 | 第103期末 | 第104期末 | 第105期末 | 第106期末 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2025年６月20日 | 2025年７月22日 | 2025年８月20日 | 2025年９月22日 | 2025年10月20日 | 2025年11月20日 |
| 純資産総額 | 14,476,811,074円 | 17,372,132,999円 | 18,448,385,309円 | 20,925,662,860円 | 21,393,825,433円 | 22,405,990,502円 |
| 受益権総口数 | 12,536,296,842口 | 14,278,313,759口 | 15,729,742,657口 | 18,180,181,138口 | 19,773,537,294口 | 20,240,920,012口 |
| １万口当たり基準価額 | 11,548円 | 12,167円 | 11,728円 | 11,510円 | 10,819円 | 11,070円 |

（注）当作成期間（第101期～第106期）中における追加設定元本額は9,547,678,377円、同解約元本額は516,581,110円です。

## 組入上位ファンドの概要

### ハイインカムＢＤＣマザーファンド

**【基準価額の推移】**




**【１万口当たりの費用明細】**

(2024年5月21日～2025年5月20日)

| 項目 | 当期 金額 | 当期 比率 |
|---|---|---|
| | 円 | % |
| (a) 売買委託手数料 | 3 | 0.013 |
| (投資信託証券) | (3) | (0.013) |
| (b) 有価証券取引税 | 0 | 0.000 |
| (投資信託証券) | (0) | (0.000) |
| (c) その他費用 | 4 | 0.017 |
| (保管費用) | (4) | (0.017) |
| 合計 | 7 | 0.030 |
| 期中の平均基準価額は、23,982円です。 | | |

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

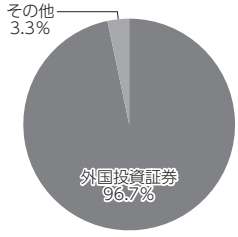
**【組入上位10銘柄】**

(2025年5月20日現在)

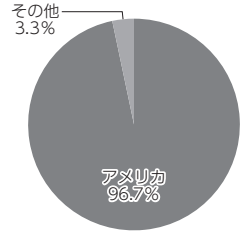
| | 銘柄名 | 業種／種別等 | 通貨 | 国（地域） | 比率 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | % |
| 1 | ARES CAPITAL CORP -BDC | 投資証券 | アメリカドル | アメリカ | 14.3 |
| 2 | BLUE OWL CAPITAL CORP-BDC | 投資証券 | アメリカドル | アメリカ | 9.5 |
| 3 | BLACKSTONE SECURED LENDING F-BDC | 投資証券 | アメリカドル | アメリカ | 8.8 |
| 4 | GOLUB CAPITAL BDC INC -BDC | 投資証券 | アメリカドル | アメリカ | 8.2 |
| 5 | MAIN STREET CAPITAL CORP -BDC | 投資証券 | アメリカドル | アメリカ | 7.9 |
| 6 | FS KKR CAPITAL CORP-BDC | 投資証券 | アメリカドル | アメリカ | 7.9 |
| 7 | SIXTH STREET SPECIALTY LENDI -BDC | 投資証券 | アメリカドル | アメリカ | 6.4 |
| 8 | HERCULES CAPITAL INC-BDC | 投資証券 | アメリカドル | アメリカ | 5.7 |
| 9 | BAIN CAPITAL SPECIALTY FINAN-BDC | 投資証券 | アメリカドル | アメリカ | 3.7 |
| 10 | MORGAN STANLEY DIRECT-BDC | 投資証券 | アメリカドル | アメリカ | 3.5 |
| 組入銘柄数 | | 23銘柄 | | | |

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

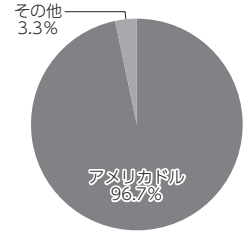
**【資産別配分】**




**【国別配分】**




**【通貨別配分】**




(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。